

第6学年 国語科 年間指導計画

【学年目標】

- (1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てます。
- (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てます。
- (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。

	単元名	学習内容
前期	サボテンの花／生きる／図書館へ行こう	◎自分の感じたことや考えたことが伝わるように朗読する。
	ずい筆を書こう	◎体験した出来事を思い出し、題材を集める。 ◎体験した出来事と今の自分の考えを整理して書く。
	イースター島にはなぜ森林がないのか	◎イースター島と森林との関係について筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持つ。
	意見と理由とのつながりを聞き取ろう	◎適切な理由を挙げているかを考えながら、意見を聞く。
	熟語の構成を考えよう／漢字の練習	◎三字以上の熟語の構成を理解する。
	風切るつばさ	◎クルルとカララの関係に着目し、出来事の流れとともに、中心となる人物クルルの心情の変化を読み取る。 ◎物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。
	新聞の投書を読み比べよう	◎四つの投書と比較しながら読み、読み手を説得するための工夫を読み取る。 ◎比較して読み、自分が納得する意見や主張について、納得する理由をまとめる。
	問題を解決するために話し合おう	◎問題を解決するために、自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。
	本は友達	◎本や文章を読むことの楽しさを知り、読書の範囲を広げる。
	詩を味わおう／いま始まる新しいいま	◎詩を読んで、自分が感じたことが伝わるように音読する。
	資料を生かして呼びかけよう	◎自分の意見が効果的に伝わるように、資料を活用してよびかける文章を書く。
	漢文を読んでみよう	◎漢文を読んで内容の大体を知り、言葉の響きやリズムを味わいながら音読する。
	問題を解決するために話し合おう(より平和なまちづくりを目指して) ※5月に指導予定	◎問題を解決するために、自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。
	日本の文字に関心を持とう	◎資料から読み取ったことを活用して、効果的に使って文章を書く。
	海のいのち	◎物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめる。

後期	物語を作ろう	◎構成を考えて筋道の通った物語を書く。 ◎想像したことが伝わるように、表現を工夫して物語を書く。
	場面に応じた言葉を使おう	◎相手や場面に応じた言葉遣いを理解し、適した言葉を選んで使う。
	町の未来をえがこう 町の幸福論	◎複数の資料を読んで、情報を活用する。 ◎意図が伝わるように、資料を効果的に活用して発表する。
	言葉の由来に関心を持とう	◎和語・漢語・外来語の由来を理解し、日本語についての関心を深める。
	ヒロシマのうた	◎場面の情景や人物の心情を想像しながら、ヒロ子の生き方について読み取る。 ○「ヒロシマのうた」をきっかけとして、関連するテーマの本を読み、人間の生き方について考えて感想文を書く。
	句会を開こう	◎言葉や表現を工夫して俳句を作り、互いの俳句を鑑賞してそれぞれの表現のよさを伝え合う。
	いにしへの言葉に学ぶ 言葉は変わる	◎心に残った「名言」についての自分の経験と考えを簡潔に書く。 ◎伝えたいことをはっきりさせて、話の組み立てを工夫して話す。
	出会いにありがとう 話し言葉と書き言葉	◎意図が伝わるように、話の構成や話し方を工夫して話す。 ◎話し手の意図を捉えて、自分の経験や考えと比べながら聞く。
	プロフェッショナルたち	◎文章を読んで、そこに書かれた人物の生き方から、自分の将来の夢や生き方を考えを広げ、深める。
	六年間をふり返って書こう	◎未来や生き方、夢について自分の思いを書く。
	未来に向かって 君たちに伝えたいこと／春に	◎文章と詩を読んで、未来や生き方について自分の考えや思いを広げたり深めたりする。

評価について

○国語で伝え合う力を進んで高めるとともに国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。(国語への関心・意欲・態度)

○目的や意図に心し、考えたことや伝えたいことなどを的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりしている。(話す・聞く能力)

○目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書いている。(書く能力)

○目的に応じ、内容や要旨をとらえながら本や文章を読む。(読む能力)

○伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。(言語についての知識・理解・技能)

評価方法

単元ごとに行うテスト本読み・漢字テスト・授業中の発言・討論の様子・作文・感想文・ノート・作品などで評価し、学習指導にいかしていきます。